

平成22年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

関東ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

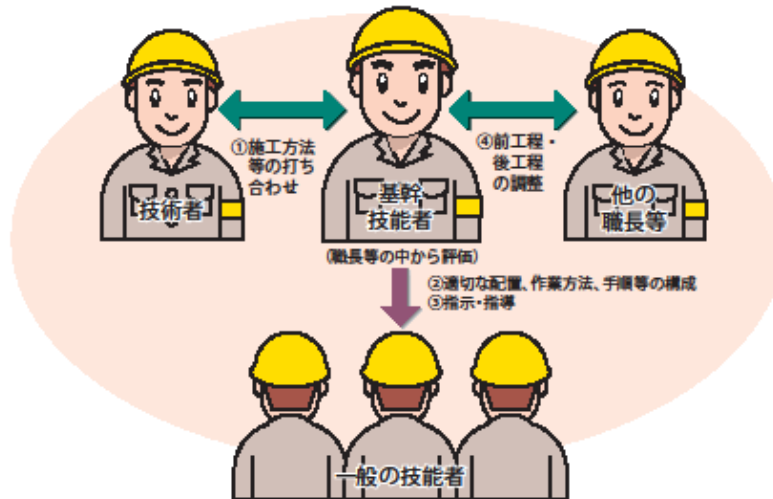
3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて9頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題1 登録左官基幹技能者の役割を示した図の内容に関して、最も不適当なものはどれか。



登録左官基幹技能者の役割を示した図

1. 周囲の建物や近隣の状況に応じた施工方法等の提案、調整等
2. 現場の作業を効率的に行うための技能者の適切な配置、作業方法、作業手順等の構成
3. 生産グループ内の一般の技能者の施工に係る指示、指導
4. 前工程・後工程に配慮した他の職長等との連絡調整

問題2 左官技能者の労働領域（丁場）の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 左官技能者の労働領域は、他職種と異なり3つの労働領域（町場、野丁場、半野丁場）に区分される。
2. 町場は、町丁場ともいい、木造住宅を主とした小規模の左官工事の丁場である。
3. 半野丁場は、概ね3～4階建までのブロック造の建築物の左官工事の丁場である。
4. 野丁場は、木造住宅以外の中高層建築物や共同住宅の左官工事の丁場である。

問題3 建設業法に基づく施工技術および建設業者の経営等に関する事項に関して「建設業法上」、最も不適当なものはどれか。

1. 監理技術者または主任技術者は、公共性のある施設・工作物または多数のものが利用する施設・工作物に関する重要な工事において政令で定めるものについては、工事現場ごとに専任でなければならない。
2. 専任の監理技術者は、監理技術者資格者証の交付を受けていない者でも良く、かつ国土交通大臣の登録を受けた講習を受講したものから、選任しなければならない。
3. 主任技術者および監理技術者は、建設工事を適正に施工するため、建設工事の施工計画の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管理、施工従事者の技術上の指導監督の職務を誠実に行わなければならない。
4. 公共工事を発注者から直接請け負おうとする建設業者は、経営事項審査を受けなければならない。

問題4 建設業の許可の種類に関して「建設業法上」、最も不適当なものはどれか。

1. 建築一式工事
2. タイル・れんが・ブロック工事
3. 光通信設備工事
4. 左官工事

問題5 建設業における安全衛生管理体制に関する記述として「労働安全衛生法上」、最も不適当なものはどれか。

1. 元方安全衛生管理者は、統括安全衛生責任者の指揮を受けて、統括安全衛生責任者の職務のうち技術的事項を管理しなければならない。
2. 元方安全衛生管理者は、その工事現場に専属の者でなければならない。
3. 統括安全衛生責任者は、工事現場においてその工事の実施を統括管理する者でなければならない。
4. 統括安全衛生責任者は、安全衛生責任者を選任し、その者に工事の工程計画を作成させなければならない。

問題6 作業主任者の職務に関する記述として「労働安全衛生法上」、最も不適当なものはどれか。

1. 作業主任者は、労働災害を防止するための管理を必要とする作業（危険・有害作業等）を指揮監督する。
2. 作業主任者は、作業方法および労働者の配置の決定をし、労働者と一緒になって直接作業を行う。
3. 作業主任者は、材料の欠陥、器具、工具の点検・不良品の除去を行う。
4. 作業主任者は、安全帯および保護帽の使用状況の監視等を行う。

問題7 VE(バリュー・エンジニアリング)を示した図の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

得られた効用の大きさ

$$V(\text{Value: 価値}) = \frac{F (\text{Function: 機能})}{C (\text{Cost: コスト})}$$

満足の度合い 支払った費用の大きさ

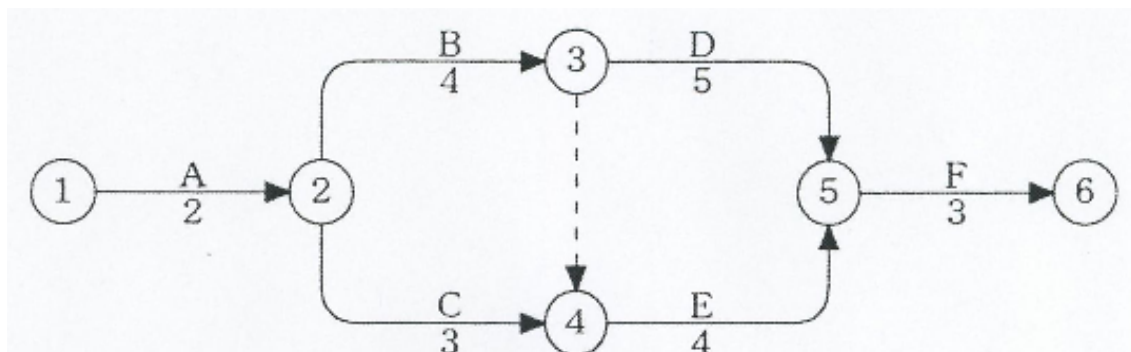


1. 価値は、機能とコストとの関係で表すことができる。
2. コストが一定であれば、機能が多い方が価値は高い。
3. 機能が一定であれば、コストが安い方が価値は高い。
4. コストは、時間とともに変化する。

問題8 VEを実施するためのブレインストーミング（BS）に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 最初から厳選する
2. 批判をしない
3. 量を出す
4. 自由奔放に発想する

問題9 以下のネットワーク工程表の内容を説明した文章に関して、最も不適当なものはどれか。



1. ③ → ④の点矢線は、ダミーを示したものである。
2. Eの作業の最早開始時刻は、5日である。
3. Dの作業の最遅終了時刻は、11日である。
4. この現場のクリティカルパスは、14日である。

問題10 災害発生したときの応急措置の要点に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 災害に直結した設備、機械等の動力は直ちに停止する。
2. 被災者を救出する。
3. 二次災害の防止の措置をする。
4. 勝手に被災者の応急手当をせず救急隊の到着を待つ。

問題11 改正労働安全衛生法におけるリスクアセスメントに関して、最も不適当なものはどれか。

1. リスクアセスメントとは、建設現場における危険性または有害性を見つけ出し、そのリスクの大きさを見積もって、優先順位の高いリスクから低減等を講じ、実施することである。
2. リスクアセスメントの手法は、施工計画時や作業手順書を作成するとき、または修正するとき、およびKY活動をするとき等、労働災害が発生したときの再発防止策を作成するとき大きな期待が出来る。
3. リスクアセスメントには、5つのステップがあり、危険性または有害性の洗い出しから、除去・低減策の実施、実施内容の記録まで一連のものとなっている。
4. 改正労働安全衛生法のリスクアセスメントおよびその結果に基づく対策の実施は、努力義務ではなく絶対義務であり、「危険性または有害性等の調査等に関する指針」に公示されている。

問題 1 2 労働安全衛生マネジメントシステムに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 労働安全衛生マネジメントシステムにおける労働安全衛生に関する事項とは、衛生設備に関する目標の設定、計画の作成、実施、評価および改善のことである。
2. 労働安全衛生マネジメントシステムは、労働安全衛生に関する事項等を体系的にかつ継続的に実施する安全管理に係る一連の自主的活動に関する仕組みのことである。
3. 労働安全衛生マネジメントシステムは、生産管理等事業実施に係る管理と一体となって運用されるものである。
4. 労働安全衛生マネジメントシステムにおける労働安全衛生に関する事項とは、安全衛生に関する方針の表明、および危険性または有害性等の調査とその結果に基づき講ずる措置のことである。

問題 1 3 快適な職場の条件に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 環境税の適切な使用による現場の環境管理
2. 心身の負担の軽減
3. 休憩室等の設置
4. 清潔で使いやすい施設

問題 1 4 コストダウンに関する事項で、最も不適当なものはどれか。

1. 経費削減対策をする。
2. 在庫を多く抱える。
3. リストラをする。
4. システムアプローチを行う。

問題 1 5 建設リサイクル法の対象建設工事の基準で、最も不適当なものはどれか。

1. 建築物の解体で床面積の合計が 80 m²以上のもの。
2. 建築物の新築・解体で床面積の合計が 500 m²以上のもの。
3. 建築物の修繕・模様替（リフォーム等）で請負代金の額が 5000 万円以上のもの。
4. 建築物以外のものの解体・新築等（土木工事等）の請負代金の額が 500 万円以上のもの。

問題 16 工場検査の内容で、最も不適当なものはどれか。

1. 現場の使い勝手を考慮して、製作図を変えて、製作されていた。
2. 設計図、仕様書に合致していた。
3. 試験成績の数値は規格に合格していた。
4. 付属品、予備品の内容はあっていた。

問題 17 左官仕上げに要求される品質管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 仕上面が、平坦であること(真壁についていえば、ちりがそろっていること)。
2. 仕上面の状態(色調平滑度または粗面度)が、全壁面に関して一様であること。
3. 設計上要求される耐火、防水、遮音、吸音、断熱、湿温調節などの性能を備えていること。
4. 必要な強度を保ち、厚さを薄くすること。

問題 18 塗り壁の故障に関する「材料・下地の問題」—「故障の内容」—「処置・施工の方法」の組み合わせで、最も不適当なものはどれか。

1. 下地の吸水大 — はく離・ひび割れ — 吸水調整剤の使用による適切な下地の施工
2. 細かい砂の使用 — 網状ひび割れ・凍結 — 粗めの砂を混ぜる
3. 湿ったせっこうプラスター — 毛状ひび割れ・硬化不良 — 新しいせっこうプラスターと混練りする
4. 不均等な塗り厚 — ひび割れ — つけ送りで調整する

問題 19 劣化のメカニズムの記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 劣化の要因は、躯体コンクリートとセメントモルタルとの界面に発生する間隙における、異種材料の接着層間に発生する乾湿と温度とによる伸縮時に発生する局部応力および、接着強さとのバランスに原因があるとされる。
2. 相対ムーブメントとは、コンクリートとセメントモルタルとは同一材料とみなされ、その境界面で変形挙動がおきることをいう。
3. 熱冷ムーブメントとは、塗られたセメントモルタル等に太陽の直射熱や、昼と夜の繰返しの温度変化に伴って伸縮、反り等の変形挙動がおきることをいう。
4. 乾湿ムーブメントとは、塗られたセメントモルタル等に雨水や湿分の影響で乾燥と湿潤の相互の繰返し変化による伸縮や反り等の変形挙動がおきることをいう。

問題 2 0 仕上塗材の種類と呼び名の組み合わせで、最も不適当なものはどれか。

1. 外装セメント系厚付け仕上塗材 — 外装厚塗材 C
2. 内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材 — 内装薄塗材 W
3. 外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材 — 外装厚塗材 E
4. 内装せっこう系薄付け仕上塗材 — 内装薄塗材 L

問題 2 1 左官仕上げの塗り厚に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 仕上げ厚では、天井・ひさしが 12mm 以下、その他は 25mm 以下とする。
2. 1 回の塗り厚は、標準 6 mm、最大 9 mm とし、天井およびひさしは標準 4. 5mm、最大 6mm とする。
3. 左官用軽量セメントモルタルは、総塗り厚 15mm 以下とする。
4. ALC パネル下地の総塗り厚は、15mm 程度を上限とする。

問題 2 2 木造建築物の外壁において防水テープを使用する際の記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 防水テープは、ローラーまたはヘラの道具を用いる。
2. 貫通孔等の周囲は、防水テープを用いて防水紙を密着させる。
3. 窓台に先張り防水シートを用いた場合には、シート部分に防水テープを張らなくても良い。
4. サッシに防水シートを張る場合は、サッシの上ー横ー下の順にする。

問題 2 3 左官下地の条件に関して、最も不適当なものはどれか。

1. コンクリートの表面の硬化不良の部分は、取り除き、剥離防止のための目荒らしをする。
2. 高強度コンクリートには、目荒らしをする。
3. せっこうラスボードの留め付け金具は、鉄釘を用いる。
4. せっこうラスボード (GB-L) は、厚塗り仕上げのせっこうプラスターを用いる。

問題 2 4 OJT や Off-JT の教育方法と各教育内容の組合せに関して、最も不適当なものはどれか。

1. OJT での社内教育では、社内での集合研修、社内での自主的な勉強会、テキスト等の整備が挙げられる。
2. Off-JT での訓練・教育機関での教育では、職業訓練校による講習会、教育機関による技術技能の習得が挙げられる。
3. OJT での現場教育では、高度な技能を持った人材による直接指導、親方や職長による現場での左官技能の習得が挙げられる。
4. OJT での仕事の内容では、現場の仕事は、伝統工法または現代工法を中心にして技能を習得することや仕事は楽しみながら行いその中で技能を習得することが挙げられる。

問題 2 5 部下とのコミュニケーションをとる方法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 気が散らないように、部下の話に注意を集中させる。
2. 考えではなく、ことばで説明してもらう。
3. 話し手に対する偏見や他人のうわさ話を思い出すことに気をつける。
4. 興味を持ち、注意深くできるだけ理解しようと努力する。